

## 光洋金属防蝕、ニッケルめつき槽を新設 西日本最大級、大型製品の加工受注増



西日本最大級の大型めつき槽

積極的な設備投資で、加工技術の高度化を実現している。清見原社長は「大型めつきの潜在需要は、西日本だけで年間1億円ある。関西地区に流出していた50%の受注獲得を目指していきたい」と話している。

(株)光洋金属防蝕(下松市西豊井三谷屋1387-10、資本金1,000万円、清見原和則社長)は、西日本最大級の無電解ニッケルめつき槽を導入、大型製品のめつき施工の生産性を大幅に向上した。

新設のめつき槽は、高さ2.5メートル、奥行き1.2メートル、長さ4.1メートルで、最大液量は12,000リットル。

これまで1.5メートルを超す大型製品のめつき施工は、めつき液に浸けた後、反転して、もう片方を浸け直す「2度浸け」していたため、生産性が悪かった。

めつきが必要な大型架台の受注確定を受け、中四国と九州地方で、最大級の大型めつき槽を新設。従来に比べて、2倍の施工スピードになり、売上倍増が期待できる。

同社は、精密機器や半導体部品の電気、電解、クロム処理などの各種めつきを加工。